

費など補正

9月定例会

9月定例会は、9月6日から9月30日までの25日間の会期で開催されました。
補正予算をはじめ、南九州市税条例の一部改正など慎重審議の結果、原案どおり可決されました。また、陳情1件が採択されました。

一般会計の主な補正

補正予算の主なものは、防霜ファン設置事業費、JR西穎娃駅管理費などで、1億1832万4千円を追加し、補正後の予算総額を207億4608万2千円としました。

議会費

○市議会議員費

▲100万4千円

常任委員会の管外研修
地変更に伴う旅費の減額
である。

総務費

○JR西穎娃駅管理費

1350万8千円

JR西穎娃駅トイレ
改修事業が「木のあふ
れる街づくり事業」に



改修される西穎娃駅トイレ

採択されたことに伴う
トイレ改修工事である。
財源内訳は県補助金が
435万円と一般財源が
915万8千円である。

審査の中で

問 市が整備する必要性
は何か。

答 利便性の向上によ
り、指宿・枕崎線の利用
促進や穎娃高校の生徒確
保、観光客の誘致などの
地域活性化が図られる
が、JR九州としては改
修の考えがないことか
ら、市が整備すること
になった。

○固定資産土地評価統合
整備事業費

52万5千円

昨年度実施した標準宅
地鑑定評価を再調査し、
時点修正を行う委託料で
ある。

民生費

○地域支え合い体制づく
り事業費

547万7千円

地域の市民活動として
高齢者などへの福祉サー
ビスを提供する活動を支
援する経費で、財源は全
額県補助金である。

○古殿保育所費

221万1千円

0歳児が見込みより多
く入所し、臨時保育士1
人の雇用が必要となった
ため、賃金などを増額す
るものである。



子育て支援の充実を

○児童扶養手当関係費

380万9千円

母子父子家庭の受給対
象児童数が、見込みより
増えたことによる扶助費
の増額である。

衛生費

○老人保健事業費

309万9千円

平成22年度老人保健事
業の医療給付費事業実績
による返還金である。

防霜ファン設置事業

農林水産業費

○都市農村交流対策事業費

80万円

水田の有効活用及び都市住民との交流を支援し、地域活性化に取り組むため、平成24年度に湿田などの転作条件不利用地などを活用して、田んぼアートを行うための準備経費である。



みごっか! 田んぼアート (青森県田舎館村)

○環境保全型農業直接支援対策事業費

120万円

環境保全型農業に取り組む農業者に対し10アール当たり、国4千円、県と市がそれぞれ2千円の計8千円を補助するものである。

〔審査の中で〕

問 事業対象農家は。

答 県が認定しているエコファーマーで、作物別では、お茶10戸、ごま6戸、野菜2戸の有機農業を実施している18戸の農家が対象となっている。

○穎娃農業開発研修センター管理運営費

▲26万円

長期研修生の農家実習に対する補助金を計上していたが、応募が無く減額するものである。

〔審査の中で〕

問 研修生の減少により、施設が有効活用されていないと考えるが、今後、研修生の受入体制を検討すべきではないか。

答 都会からの新規就農者が少ないことから、市内農家の後継者を重点的に研修生として受け入れたい。

○熊ヶ谷放牧場施設改修事業費

1260万円

施設の台風災害及び老朽化による牛舎などの改修に係る工事請負費である。

〔審査の中で〕

委員から 屋根の改修については部分改修となっているが、築後45年経過している建物もあり、全面改修も含め、関係部署と調整するよう要望する。



台風被害にあった熊ヶ谷放牧場

○防霜ファン設置事業費

1405万3千円

当初計画を上回る申請があったため、不足する補助金を増額するものである。

〔審査の中で〕

問 農家戸数及び対象地域について説明を。

答 穎娃地域56戸の16・96ヘクタール、知覧地域6戸の1・43ヘクタール、川辺地域4戸の1・46ヘクタールで、全体で66戸の19・85ヘクタールである。

土木費

○市道単独整備事業費

36万4千円

積算作業に必要な土工・土積計算システム機器が不具合となったための備品購入費である。

消防費

○消防総務費(一般経費)

927万1千円

東日本大震災により死亡または行方不明となっている消防団員への公務災害補償のため、責任共済掛金が引き上げられたことによる差額分の経費が主である。

教育費

○学校共済住宅費（一般経費）

253万9千円

教職員住宅の浄化槽破損に伴う改修工事が主なものである。

～審査の中で～

委員から 長期間入居されない教職員住宅の活用のため、市外から通勤する教職員に入居を働きかけること、市民の入居が可能か、規則改正の検討を含め対策を講じるよう要望する。

○小学校施設管理費

450万5千円

中福良小3・4年生が複式学級になったことに伴う黒板などの改修及び松山小の法面が大雨により一部崩落したことに伴う工事請負費である。

○中学校施設管理費

784万5千円

川辺中学校弓道場の雨漏り防止のための屋根改修工事費と非常放送設備機器の故障に伴う備品購入費である。



雨漏りがする川辺中弓道場

○給食センター供用開始準備経費

▲129万1千円

東日本大震災の影響により給食配送車4台を、新車リースから中古車リースへ変更したことによる賃借料の減額である。

～審査の中で～

問 車体規格の異なる中古車リースとなったことにより配送に不具合は生じていないか。
答 コンテナ室の庇に接触する可能性がある学校については、夏休み中に改修を行っている。

委員から 配送距離が伸び、配送も長時間となることから、業務委託者、リース業者と情報交換を密に行い、事故などが発生しないよう要望する。

○川辺文化会館管理費

130万1千円

保守点検報告書により冷却温水ポンプ分解整備などが必要となったための修繕料である。



東日本大震災の影響で新車から中古車へ

○ミュージアム知覧管理費

152万4千円

空調機器及び映像システムのの一部が故障したために修理を行う経費が主である。

○地区公民館管理運営費

37万9千円

勝目校区公民館敷地内のセダンなどが、道路の通行に支障を及ぼすため、その剪定に要する委

託料である。

特別会計

○国民健康保険事業

5692万9千円

平成22年度国庫支出金の精算による返還金が主である。

○後期高齢者医療

79万円

平成22年度決算剰余金

の一般会計への返還金が主である。

○介護保険事業

1億1770万4千円

過年度精算に伴う国・県・支払基金への返還金为主である。

その他の議決

専決処分の承認

○東日本大震災により被災した介護保険被保険者に係る保険料減免のため、南九州市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について専決処分したもの。

「専決処分」とは

議会で議決すべき事件を市長が処分するもので、市長が議会を招集する時間的余裕がないときなど限定的に適用される。

専決処分した場合は、次の会議において報告し、承認を求めなければならない。